

平成26年度

理事会（第1回）

議事録

平成26年5月10日（土）

山口県介護支援専門員協会

平成26年度 山口県介護支援専門員協会 理事会
議事録

1 日 時

平成26年5月10日(土) 午後1時から午後3時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク リハビリテーション実習室

3 出席者

(1) 理事

定数 40名

出席者数 34名(うち委任状出席6名)

出席者名

佐々木啓太	橘 康彦	藤本邦和	松谷法史	山本史彦
林 浩二	頃未能宏	堀田慎一郎	岩本裕子	松井康博
藤本真樹	福井治枝	鬼木泰子	田村則子	三井栄三
守田由起子	関永里美	河本好英	岩神亜紀	末富琢馬
脇村敦子	福谷治夫	山本亜紀	東郡富美江	田中陽児
鶴田憲一	佐藤 剛	塩見昌丈		

委任状出席者

横山具寛	渡邊康浩	内山由紀	松井清之	山本太郎
景浦 佑				

(2) 監事

定数 2名

出席者数 1名

出席者名

廣兼裕之

(3) 顧問

定数 1名

出席者数 0名

(4) 事務局

福祉人材研修部 主任 光安信介 嘱託 福本かおる

4 上程議案

第1号議案 平成25年度事業報告について

第2号議案 平成25年度決算報告について

第3号議案 平成26年度事業計画(案)について

第4号議案 平成26年度収支予算(案)について

第5号議案 法人化について

第6号議案 平成26年度役員体制(部)の構成について

第7号議案 第11回山口県ケアマネジメント研究大会について

5 審議の経過

松谷理事

佐々木会長挨拶の後、本日の理事会議事録署名人の選出について、次の理事を指名し、両名の承諾を得た。

山本史彦

林 浩二

平成26年度役員改選にあたり、新旧理事の理事会となるため、自己紹介を行う。続いて上程議案第1号議案平成25年度事業報告について説明いただく。

佐々木会長 平成25年度事業報告について説明。
誤字脱字等修正後総会資料にかける。精力的に25年度は活動を行っていることについて意見を伺う。

田中理事 今年度より理事となるため協力していきたい。

山本(亜)理事 県の活動がなかなか会員へ見えてこないため、精力的に活動されていることを改めて確認することが出来た。

松谷理事 続いて第2号議案平成25年度事決算報告について藤本事務局長に説明をいただく。

藤本事務局長 平成25年度決算報告について説明。
会員、役員の協力をいただいた結果、次期繰越金について500万円近い額を繰越すことが可能となった。貸借対照表、残高証明書についても説明を行う。

松谷理事 質疑を求めたが特にないため、監査報告について廣兼監事に説明を求めた。

廣兼監事 4月18日に監査を行い、会計について事業報告書、収支決算書、貸借対照表、財産目録について正しく示され、不正の点はないと認める。

松谷理事 続いて第3号議案平成25年度事業計画(案)について会長に説明をいただく。

佐々木会長 事務局長からの説明であった収支状況について、24年度より蓄えのない中でのスタートであったが、会費の値上げ、役員の協力を得ることにより、会の安定、成果を得られている。26年度は会員へ還元していく。研修についてケアマネに求められるスキル、力量が試されてくるため、法定研修に参画しつつ、県社協と共同し、ケアマネの資質向上を目指していく。県より実務従事者基礎研修は委託を受けて実施しているが、法定研修の委託を受けるために具体的な法人格取得に向けて準備を行う。

国、県、地域の三層構造を堅持していくため、日本協会との連携を深め、意見を精査し、国に意見提言できる体制作りをする。大きな方向性として以上の2点を挙げている。

職能団体の仲間として楽しみが共有でき、会に入ってよかったと思えるよう事業に取り組む。

法人化に向けた具体的準備について、事業計画、スケジュールを立案し、目的として法定研修委託に向け、県、県社協と協議を進めていく。法人化した場合の事務局体制について、県社協に事務局委託を行っているが、独立して事務局を持つ等検討していく。介護福祉士会は一般社団法人化し県社協に委託を行っている。理事会の中

で意見を伺い、見える形で報告していく。

今年度の研究大会はブロック大会となるので、他県からの参加も含め、日程等検討していく。

研究事業について、めまぐるしく変わる介護保険制度、施策を分かり易く分析し、会員へ伝達していく。

防災対策について、日本協会作成のマニュアルを活用し、机上訓練を引き続き地域で開催していく。

近県との連携について、福岡県、大分県とも研修の相互乗入が出来るように進めていく。

頃末理事 法人化に向けてのメリット、デメリットを明確にし、事務局委託について専門的な人員を置くのか、今まで通り委託するのか等慎重に行うべきである。

佐々木会長 一般社団法人取得を目的としているが、基礎研修が実務研修と統合される等研修体系が変わる場合、委託料がなくなるためメリット、デメリットを精査し、慎重に検討していく。

松谷理事 続いて今年度の研修スケジュールについて岩神理事より説明をいただく。

岩神理事 今年度の研修スケジュールを掲載しているが、4研修で県厚政課の助成を利用し、参加費無料で実施できるよう助成申請を行う。その他の研修についても、会として体力がついたため、会員の参加費を下げ実施する。開催要項発送済みの研修について実務事務研修が定員を大幅に超えたため、追加開催を行う。その他認知症研修も定員を超えているので会場変更を含め調整していく。施設研修のグループワークについてファシリテータを施設の理事へお願いしていく。

松谷理事 第3号議案平成26年度事業計画(案)について、質疑を求めたが特にないため、平成26年度収支予算(案)について藤本事務局長に説明をいただく。

藤本事務局長 平成26年度収支予算(案)について説明。体制的には安定しているため、余裕のある予算が組んでいる。

松谷理事 第4号議案平成26年度事収支予算(案)について質疑を求めたが特にないため、続いて第5号議案法人化について説明いただく。

佐々木会長 法人化については実行に向けて慎重に動いていくため、予算には盛り込んでいないが、準備を進めていく。法定研修のカリキュラムが変更になるので協会としても参画していくための協議を行う。県より法定研修をとる場合は法人化が必要という意見を聞いているが、法人化をせずに法定研修が受けられるかの検討もしていく。

法定研修の委託を受けた場合の事務局体制、法人税、法人化に係る経費も含め検討する。三役、組織総務部、事務局で協議を行う。

- 鶴田理事 順調に手続きを進めるといつ頃法人化になるのか。法定研修を委託する場合何年度を目指しているのか。
- 佐々木会長 法人の認可については定款の作成、申請書類の提出等2週間程度と考えており、費用も20万円程度と聞いている。法定研修の委託が目的のため、事務局委託等も含めスムーズに行けば27年度に法人化が行えたらよい。
- 末富理事 法定研修を受けるために法人化が必要かについて再度確認いただきたい。法定研修も参加費を下げても受講できるのか。
- 佐々木会長 研修を受けるために法人化はスタンダードである。法定研修参加費について会員、非会員の差はつけられないが、金額については設定できるのではないかと。
- 事務局 収支予算の中から適切な受講料を設定できるが、根拠を示し、単年度でなく継続して実施できることが必須となる。
- 佐々木会長 安定が維持でき、研修を継続できる体制であれば、金額は設定できる。
- 松井理事 職能団体の法人化は社団法人が妥当であり、一般社団の取得を目指しているが、一般社団から公益社団を目指す等将来像を考えると必要になってくる。
- 福井理事 メリット、デメリットが分かりづらく、明確にしていけば役員も考えやすいし、意見も言い易くなるのではないかと。
- 佐々木会長 次年度の中で委員会を立ち上げ具体的に提示できるよう今年度進めていく。
- 藤本事務局長 メリットとしては自分達の手で法定研修を実施できることである。デメリットとして基礎研修の委託費がなくなることがあるが、決算が黒字になれば法人税等の支払いが必要となる。
- 橘副会長 法定研修を受けている団体として、他県では看護協会、ヘルパー養成講座を行っている団体等があり、受講料が入ること、自社の講師で雇用が生まれる等がメリットとして挙げられる。山口県は県社協が実施しているが、福岡県では実務研修を複数の団体が実施している。法定研修カリキュラムの時間が倍になり、演習、講師も増え、主任研修は更新制度も始まり、法定研修の枠が年間100時間を超えてくる。26年度にガイドラインが作られ、27年度に研修実施団体として準備が必要となる。28年度4月からの研修実施に向けて、法人化を受け研修を実施できる体制が作れるかの判断が不明であるので協議を行う。
- 松谷理事 第5号議案法人化について質疑を求めたが特にないため、続いて第6号議案平成26年度役員体制（部）の構成について説明いただく。

- 佐々木会長 引き続き会長に立候補をし、副会長、各部部長、各部の構成について案を提示する。広報、公益事業部に会長、組織総務部、生涯研修部に松谷副会長、調査研究部に橋副会長がサポートに入る。
※別紙役員名簿参照
- 松谷理事 第6号議案平成26年度役員体制（部）の構成について質疑を求めたが特にないため、続いて第7号議案第11回山口県ケアマネジメント研究大会について、午前中の組織総務部会で内容について協議を行い、1日開催も考えたが、内容が濃いため11月1日、2日にセミナーパーク講堂で2日間の開催を行う。
テーマを「医療ニーズと支援のポイント」～施設、居宅ケアマネの果たす役割～とする。
スケジュールについて1日目は永年表彰、厚生労働省老健局遠藤征也氏に基調講演をしていただく。午後は地域からの研究発表として、発表地域が岩国、周防大島で1題、光市、美祢市、下関市、長門市で各1題ずつの5題を行う。発表担当地域は準備をお願いする。医療ニーズと支援のポイントとして利用者参加のシンポジウム、パネルディスカッションを行う。パネリストに居宅、施設、包括、訪看、当事者各1名に発表を依頼する。
2日目に日本協会発行の「医療ニーズと支援のポイント」書籍の内容の講義を3時間程度行う。共同募金会、日本協会より助成を受けており、有効に使用するため、特別、記念講演として著名な方に講演を依頼する案が出ている。島田洋七氏、鎌田實氏、綾戸千絵氏等候補が出ており、講演を聞いてみたい方がいれば意見を伺う。
2日目の最後に大抽選大会を会員、大会参加者に向けて昨年度と同じ形で行う。
- 守田理事 抽選会当選者に役員が多かったとの声が出ている。役員なので目に付くところもあり、主催者側が当選することについて会員より意見が聞かれた。
- 松谷理事 抽選会を実施する上での立役者の方もいるので、今後の参考にさせていただく。
- 事務局 記念講演について島田洋七氏が80万円、鎌田實氏が60万円から70万円の講師料である。
- 松谷理事 講演を聞いてみたい方がいれば事務局にメール等で連絡してもらおう。続いてその他「山口県高齢者保健福祉推進会議委員の推薦について」説明いただく。
- 佐々木会長 県長寿社会課より山口県高齢者保健福祉推進会議委員の推薦依頼が届いている。昨年は1度も会議を開催されていないが、今年度は年4回程度会議開催が予定されている。女性の方を希望されている。
- 事務局 女性の委員が少なく、女性の意見を反映させていきたいとの連絡があった。

松井理事 会の運営を考える上で、発言が重要となり、法人化に向けての委託が受けられるよう意見を言える立場、会の活動が分かっている方が出席するのがよい。

松谷理事 会長にお願いするのがよいのではないかと。

佐々木会長 今年度重要な会議となるので引き続き就任する。出席が難しい場合代理で岩神理事にお願いする。

橋副会長 6月22日に日本協会の社員総会が開催され、山口県より代議員佐々木会長、木村副会長、松谷理事が出席されるので、三層構造、会員のメリットについて説明いただき、会員増に向けて地域での活動をお願いしたい。

と き 午後4時00分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成26年5月10日

山口県介護支援専門員協会

議 長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印